

# 支えあい通信

## 一宮市内のすてきなつながり 地域のお宝発表会

3月23日(日)に尾州ファッションデザインセンターにて「一宮市内のすてきなつながり 地域のお宝発表会」を開催しました。この発表会では地域に由来ある活動や日常的に行っている住民の支え合い活動を『お宝』と称し、『お宝』の意義について学び、今後の支え合い活動や見守り活動の発展につなげることを目的としています。今回は発表会の内容を報告いたします。

### 第1部：基調講演 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 さん

#### 地域のお宝とは？

なぜ今、福祉サービスではなく地域の中にある自然な支え合いが大切なのか？



【講演会の様子】

2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、高齢者の人口が急増します（2025年問題）。そんな中、いつまでも元気に過ごすためには『普段のつながり』が大切です。友達とのお茶飲み、散歩、旅行、サロン等の集いの場、趣味の集まり、町内会の活動など、日常的な『普段のつながり』が健康寿命を延ばし、自分たちの「暮らしぶり」を整えることが大切とお話をいただきました。

### 第2部：パネルディスカッション～地域のお宝発表会～

#### 事例紹介①：大和町連区：日曜朝ラジオ体操（勝又さん）

#### 事例紹介②：丹陽町連区：東三ツ井おしゃべり会（松尾さん）



【日曜朝ラジオ体操の様子】

事例紹介①：コロナ禍で地域のつながりが薄れたことをきっかけに、毎週日曜日の6時30分から大和東小学校のグラウンドでラジオ体操を開始。この取り組みを通じて、「来ない人がいると心配で自然と声をかけあうようになったり、道で出会っても、一方的に知っているだけで話しかけづらかった方に気軽に声をかけられるようになる等、参加者同士の見守りが自然に生まれている」とお話をいただきました。



【東三ツ井おしゃべり会の様子】

事例紹介②：地域のいくつかあった喫茶店が閉店し、地域の集う場がなくなったこと等をきっかけに公民館を活用したおしゃべり会を2018年から毎月第2・4火曜日の午前中に開始。おしゃべり会では「脳トレ・体操・カラオケ等を行い、参加者の健康促進になっているとともに、参加者同士が互いに声をかけあい、お互いの見守りが自然とできている」とお話をいただきました。

### お宝発表会を終えて．．．

発表会を通して、『お宝』は健康維持・見守り・孤立予防等様々な効果があると実感することができました。ぜひ、皆さんも自分の「暮らしぶり」に意識を向けて大切にしていっていただきたいと思います。